

野田 毅 会長 挨拶【全文】

(2025 年 10 月 22 日 ホテルニューオータニ「鳳凰の間」における会長挨拶)

皆様、今晚は!!

一般社団法人日中協会会長の野田毅でございます。

本日、日中協会創立 50 周年記念レセプションを催しましたところ、政治・経済、内外共に多事多端な折にも拘わらず、呉江浩中国大使閣下、北京から駆けつけていただきました中国人民対外友好協会袁敏道副会長、日中友好議員連盟森山裕会長はじめ日中友好 7 団体の要路の皆様、そして、ご来会いただきました皆々様に心より厚く御礼申し上げます。

私どもの日中協会は、50 年前、1975 年 9 月 29 日にここホテルニューオータニにおいて任意団体として創立されました。

1972 年 9 月の日中国交正常化により、政府間の公式関係が実現しましたが、民間交流においても、これまで日中関係の発展に尽力されて来られた方々のみならず、全国民的なレベルで輪を広げようという機運が起こって参りました。

この構想を推進しておられた元全日本空輸社長の岡崎嘉平太氏、元東京大学総長の茅誠司氏、元外務次官の門脇季光（すえみつ）氏、政界からは超党派の先生方、その他まさに各界各層にわたる 500 余名の方々が参集し、日中協会が誕生したのであります。

初代の代表世話人は岡崎嘉平太、茅誠司、門脇季光の 3 氏が就任され、世話人会の下に「幹事会」が設けられ、幹事長に田川誠一氏が就任されました。

私も若輩ながら幹事会メンバーに入り、1977 年 8 月には私が幹事長に就任いたしました。

日中協会設立後まもなく、日中平和友好条約の早期実現が課題となり、1977年3月に当時の福田赳夫首相にも交渉の促進を訴えました。

協会が当初から力を入れてきました事業の一つは中国人留学生の受け入れ体制の改善でありました。

留学生支援は、1979年11月に茅伊登子、園田天光光、小川嘉子さんが中心となって『中国留学生友の会』に結実し、今日に至っております。

現在、野田みどりが代表を仰せつかっておりますが、この間、多くの方々の心のこもったご協力に感謝申し上げます。

1981年3月、伊東正義外務大臣の時に、日中協会は外務省所管の社団法人となり、今日の協会の組織・事業の基礎ができました。

茅誠司初代会長のもとに、副会長には政・官・財・学から選ばれ、官からは初代駐中国大使の小川平四郎、経済界からは東京電力社長の平岩外四、学界からは元東京大学総長の向坊隆の各先生、政界からは後日、伊東正義先生が就任されました。理事長を私が務めることになりました。

日中友好議員連盟会長になられた伊東正義先生と岡田春夫衆議院副議長、そして向坊先生の呼びかけで始まった「日中民間人会議」は、1982年から8回にわたり日中相互に開催され、日中協会が総合事務局の役割を務めました。日中関係の促進に大きく寄与することができたと思います。

1988年に茅誠司会長がご逝去の後、向坊先生が2代目会長に就任されました。向坊先生は大連生まれということもあり、エネルギー分野が低迷な時期に中国の経済発展に大きく貢献されました。

向坊会長のあと、副会長を務めていただいた後藤田正晴先生の強いお薦めにより、2000年に私、野田毅が3代目会長になり、白西紳一郎さんが理事長を務めることとなりました。

そして 2014 年に外務省所管の社団法人から内閣府承認の一般社団法人となって今日に至っております。

日中協会はこれまで様々な形で数多くの訪中団を派遣してまいりました。

その際に行き届いた温かいご協力を頂いた中日友好協会や中国人民対外友好協会の皆様に改めて感謝申し上げます。

また、中国の要人の訪日や大使の交代の際をはじめ様々な行事を、日中友好 7 団体の一員として共に行って参りましたが、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

思えば、今世紀に入ってからの日中関係は、それ以前と比べて多くの面で劇的な変化を遂げて参りました。

一言で言えば、世界の政治・経済環境の変化と日中双方の「総合国力」の変化であります。

これに伴い、両国関係もより厳しく、深刻な局面に遭遇しましたが、これを乗り越えて参りました。

今日は残念ながらさらに厳しい局面を迎えております。

しかし、両国関係においては、少なくとも日中間の基本 4 文書の重要性を再認識し、特に「戦略的互惠関係の包括的推進」について、これを実践に移し、死文化することのないよう、

日中双方が誠意をもって対処してもらわなければなりません。

戦後 80 年を迎えた今日、日中関係改善の基礎を築いていただいた先輩たちに感謝申し上げますとともに、

その思いを受け継ぎ「今後いかなることがあろうとも、日中両国が再び戦火を交えることがあっては断じてならない。

有事にならないようにすることこそが唯一の選択肢である」と存じます。

政府のみならず、民間においても、そのことを肝に銘じて前に向かって進んで参りたいと思います。

どうぞ、ご参会の皆さん、共に頑張りましょうではありませんか。よろしくお願い申し上げます。

結びに、本日ご来会いただきました呉江浩大使閣下はじめご来賓の皆様、

ご参加いただきました皆様に心から感謝の誠を捧げ、

日中両国の発展と皆様方のご健勝を心より祈念申し上げ、

私からのお礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

一般社団法人 日中協会
会長 野田 毅